

曲が～る レ～ザ～

京都大大学院工学研究科の野田進教授と半導体大手「ローム」（京都市）の共同研究グループが、鏡などを使わずに半導体レーザー光線の発射方向を操ることに世界で初めて成功し、英科学誌「ネイチャー・フォトニクス」（電子版）に2日発表した。野田教授は「高速レーザープリンターやカプセルに内蔵したレーザーメスなど、機器の小型化につながる」

世界初成功 ローム

としている。従来の半導体レーザーは、光線の発射方向が一つに固定される。このため、方向を変えるには発射装置以外に鏡などが必要で、小型化や耐久性などで課題があった。グループは半導体物質をナノび（10億分の1）単位で加工し、光を制御する性質を持たせた構造体「フォトリック結晶」を組み合わせ、発射装置に使用。2本の光線を最大60度広げて発射可能にした。【広瀬登】



5月3日(月)

2010年(平成22年)

発行所：大阪市北区梅田3丁目4番5号
〒530-8251 電話(06)6345-1551
毎日新聞大阪本社